

きょう  
今日は〇〇になろうかな

〈2歳児〉

せんじつ か もの い  
先日、「お買い物行ったよ」という子どもたちの声から  
みせ かんきょう ようい  
お店の環境を用意しました。すると、てんいん きやく  
店員さんやお客さんになったつもりで「いらっしゃいませ。何が要りますか？」  
ぎゅうにゅう う  
「牛乳は売っていますか？」  
かし  
「お菓子ください」  
なと、ともだち ほいくしゃ と やり取りをたのしみすがた み  
などと、友達や保育者とやり取りを楽しむ姿が見られました。  
た。



また、お家のコーナーにお菓子の空箱やお弁当箱も置いてみると、「ご飯作ろう」と料理ごっこを始めていました。  
「唐揚げ作るよ～」  
「カレーも食べるかな～」と赤や黄色のチェーンリングなどをお弁当箱に詰めています。食べる前に電子レンジへ持っていき「チン！するよ～」と家庭での様子をたのしそうに再現していますよ。

うち となり  
お家の隣では、ほいくえん  
保育園ごっこを楽しむ姿もありま  
す。かあ とう  
お母さんやお父さんになったつもりで「きょうもお願  
いします」  
れんらくちょうも き あか にんぎょう  
「連絡帳持って来たよ」と赤ちゃん人形を  
ほいくしゃく こ わた  
保育士役の子へ渡したり、「きょう つめの  
今日は爪が伸びていたの  
き  
切ってくださいね」  
きょう ねつ  
「今日はお熱があるので病院に行き  
ます」などとやりとりし、にんぎょう だいじ  
お人形を大事そうに抱きお家  
かえ すがた  
へ帰るかわいい姿もありました。



にちじょうせいかつ なか しぶん たいせつ  
日常生活の中で自分が大切にされていることや経験した事を再現し、身近な人になりきって遊ぶ2歳児で  
す。あそ すがた みじか かんきょう しゅたいてき かか なか ひと  
その遊びの姿から身近な環境に主体的に関わる中で、人との様々な関わり方に気付いていくのだと  
あらた かん  
改めて感じさせられました。